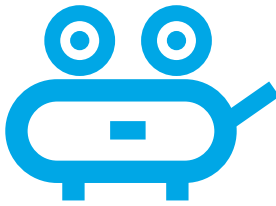


Pスタディ

デジタル・
情報活用力
学習プログラム

情報I対応

教材活用ガイド



社会で通じる情報活用力を育成

情報Iの学習内容は4つの領域に分かれおり、多種多様です。情報モラルや情報デザイン、データサイエンスにプログラミングなど、それらすべてをバランスよく身につける必要があります。そのためにPスタディでは全領域の教材をご用意しました。

1. 教材の構成

教員用画面からのみ教員用教材をみることができます。領域名のついたフォルダの中に学習教材が格納されています。学習教材は単元によってスライドや動画で学習していく教材、プログラミングなどの実習型教材に分かれています。

教員用画面

コースを選択

キーワードを入力

教員用

1. 情報社会の問題解決
4コンテンツ

2. コミュニケーションと情報デザイン
8コンテンツ

3. コンピュータとプログラミング
14コンテンツ

4. 情報通信ネットワークとデータの活用
17コンテンツ

教員用

付録
5コンテンツ

確認問題
2コンテンツ

1. 情報社会の問題解決
4コンテンツ

2. コミュニケーションと情報デザイン
8コンテンツ

3. コンピュータとプログラミング
7コンテンツ

4. 情報通信ネットワークとデータの活用
17コンテンツ

付録
4コンテンツ

確認問題
49コンテンツ

付録教材
学習に必要な基礎スキル、
+αの学習教材などが収録されています。

生徒用画面

コースを選択

キーワードを入力

1. 情報社会の問題解決
4コンテンツ

2. コミュニケーションと情報デザイン
8コンテンツ

3. コンピュータとプログラミング
7コンテンツ

4. 情報通信ネットワークとデータの活用
17コンテンツ

付録
4コンテンツ

確認問題
49コンテンツ

確認問題

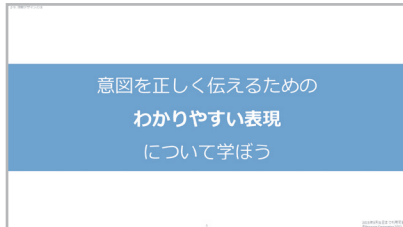
メインの学習教材に対応した、単元ごとの確認問題が収録されています。

②. 教材の使い方

②-1. スライドの使い方

学習スライド

スライド教材には、各単元の大事なポイントがまとまっています。生徒が読み進めて自学することができます。授業での利用や、テスト前の復習にも役立ちます。



スライドは編集可能 (教員のみ)

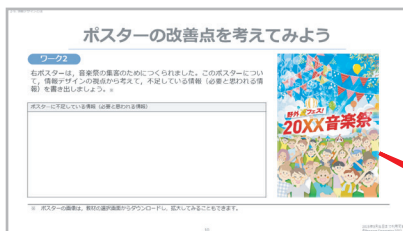


採択年度内であれば、編集した上でスライドを利用することが可能です。ただし、学校外へ公開・配布するなど、採択校内での利用の範囲を超える利用方法はお控えください。

教員用ページから「スライドデータ編集用」をダウンロードできます。

スライド内のワーク

スライド教材には「ワーク」がついているものがあります。スライドや動画で学習した内容を用いて思考・表現をする場として活用できます。



Pスタディにはファイルの提出や配布等の機能はありません。

スライド内の振り返りページ

スライド教材には「振り返り」がついており、スライド（授業）を通して考えたことを記入できます。各単元での振り返りを生徒に提出させることで、提出の有無やその内容を「態度」の評価に活用できます。



Classi や Google フォーム などのアンケートツールを使って提出させることで、管理や評価がより楽になると考えられます。学校の ICT 環境に合わせてご活用ください。

②-2. 動画の使い方

動きがあることで理解が深まったり、実物を目にすることが難しかったりするものは動画で学習することができます。

動画をみる



スライド教材の中には関連する動画がある箇所にこのマークがあります。



別タブで開くことができるので、授業内で投影する際には、P スタディの教員用画面を生徒に見えないようにして、再生することができます。

②-3. 実習型教材の使い方

実習型教材は、実際に手を動かすことで生徒の理解を深める教材です。生徒が読み、作業をしながら自分で理解して教材を進めていくことができます。



実習型教材の単元

- 情報のデジタル化
 - プログラミング (Python / JavaScript)
※VBA はスライド教材をご用意しています。
 - データベース
- (付録内の実習型教材)
- Web ページ制作
 - リモートセンシングと Google Earth Engine

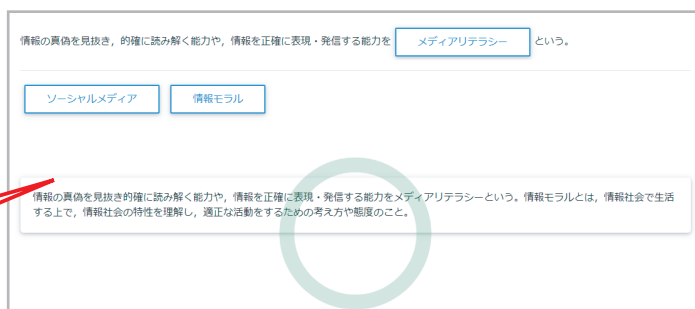
生徒の自学自習教材として、また、授業内に取り組む課題として、活用することができます。

②-4. 確認問題の使い方



各単元2問～4問程度の確認問題が搭載されています。生徒の自学自習での取り組みはもちろん、授業後の定着の確認、知識理解の評価などにもお使いいただけます。

- 1問取り組み毎に自動で採点されます。
- 何度でも取り組むことができます。



②-5. 付録の使い方

生徒の興味関心や授業の方針によって、適宜ご活用ください。

	付録	想定される活用タイミング	内容
スキル習得系	Google Workspace for Education の使い方	<ul style="list-style-type: none"> •ソフトウェアの操作スキルが必要になる単元の前 •夏休みなどの長期休暇の課題として など	Google, Microsoft それぞれの公式コンテンツへのリンク集です。各種ソフトの使い方を学習することができます。
	Microsoft Office の使い方		Benesse マナビジョンサイトで提供しているタイピング学習コンテンツへのリンクです。
	タイピング練習		
コラム	PC って自分で作れるの?!	コンピュータの仕組み学習前後	自作 PC 動画を YouTube に投稿している方々へのインタビューです。コンピュータを身近に感じ、関心を高めることができます。
発展	Web ページ制作実習	情報デザインの実習課題として	HTML, CSS の知識を学びながら Web ページを構築します。
	リモートセンシングと Google Earth Engine	プログラミング学習後	※JavaScript を利用します。リモートセンシングの技術を用いたデータ分析実習です。
	ロボットと防災	情報デザインの実習課題として	経産省「STEAM Library」に掲載している災害時の課題解決を立案する実習コンテンツです。(教員向け指導案, ワークシート類)

③. 教材の公開・非公開設定

生徒にコンテンツを公開する期間を設定することができます。

①「コンテンツ管理」をクリック



②設定したいコンテンツの「公開期間」をクリック

※コース単位で設定することも、単元ごとに設定することも可能です。

③設定するグループを選択

④公開の開始・終了の日時を設定

⑤公開期間外の表示方法を選択して保存



グレーアウトするを「on」にした場合

グレーアウトするを「off」にした場合
(表示されなくなります)

 お問い合わせ先

商品内容、お申し込み内容について

高校の先生専用
お客様
サービスセンター

0120-350455 (通話料無料)
受付時間: 月~金 8:00-18:00
土 8:00-17:00 (祝日、年末・年始を除く)